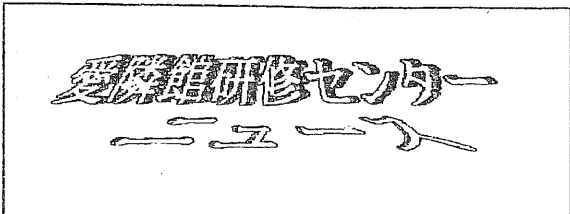


向島の催し、ニュースは、愛隣館研修センターへお知らせ下さい。

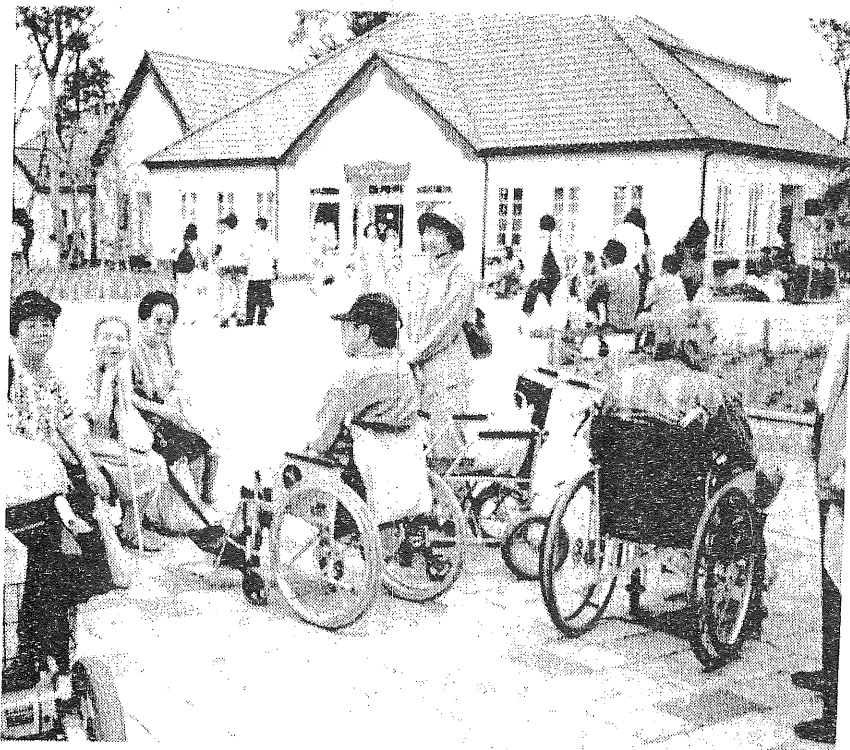


社会福祉法人イエス団
愛隣館研修センター
〒612 京都市伏見区向島二の丸町151
TEL 075-621-3849
FAX 075-621-1579
発行 平田 義
編集 恵 大一郎

～ デイサービス・初夏のお出かけ会 ～

6月3日・滋賀農業公園「ブルーメの丘」

4月8日には「お花見」
にも行ってきました。



去る六月三日(火)、デイサービスのメンバー総勢三五名(利用者一八名・内車イス使用者一二名、スタッフ七名・内利用者家族一人)でこの四月十九日にオープンしたばかりの『滋賀農業公園・ブルーメの丘』へ行ってまいりました。当日心配された雨の方も行程中はお天気に恵まれ、

もセンター到着時にはそこそこ降り出し、ちよつぱり往生しました(笑)。というより、曇りだったのかえって涼しく、快適に初夏の一日を満喫できました。『ブルーメの丘』というのは、県、日野町も参画する第三セクター方式で設置運営され、地元農業と結びついた発展を目指しオープンしたと

いうことです。小高い丘に広がるドイツ風の建物群や羊や馬の放牧場もあり、のびやかな風光明媚な公園でした。研修センターをマイクロスバスやワゴン車に分乗し、高速道路を経由し揺られること約一時間半で到着。食事可能な場所だけでも、レストランやバーベキューテラス、ファーストフードに地

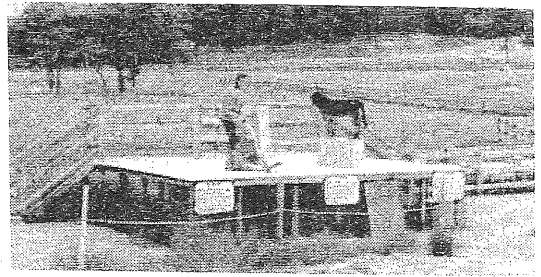


<こちらはお花見>

それぞれがそれぞれのペースで初夏の一日を堪能できたようで、参加者からは「楽しかった」「のんびりできた」と概ね満足そうな感想が聞かれました。

又、これに先立つ四月八日(火)には恒例となりました「お花見」へ。今年は滋賀県大津市の琵琶湖岸にある膳所城跡公園にいつて「日本の心・桜を堪能してきました。」

これからもこうしてどんどん積極的に外へ出る機会を持ち、日頃の疲れた心身をリフレッシュすることに心がけたいと思います。



<羊の追込みショー(ちよと伽呷くいですが)>

ビール&スベアリップと盛り沢山なだけに、いつものように全員揃って食事とはいかず、各自の興味にあわせて、食事するところを選びました。地ビール工房に直行し、スベアリップと地ビールを堪能する人、パーベキエーテラスでワインを片手に豪華に食事を楽しむ人。なかなか決まらずに、園内をグルッと物色していた人。その選ぶ方ひとつとってもそれぞれの個性が出ていておもしろかったです。

食後もそれぞれで、羊の追込みショーを楽しんだり、ソフトクリームをほうばったり、特筆すべきは、一日極少量しか焼き上がらないという幻の「石窯パン」。今や「プラチナチケット」といわれている(ウソ)引換整理券との交換でしか手に入らないという代物。焼きたてを口にしましたが、トロけるようなおいしさでした。

『ほしの子クラブ』へどうぞ !!

月曜 朝・10:00 ~ 11:00 入園前の子どもたち対象

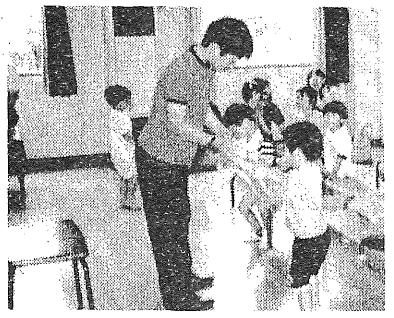


「せんせい!おはよう!」

毎週月曜日の朝十時になると、元気に子どもたちがやってくる。イスに座ってじつと待っている子。走り回ってお母さんで怒られてしまっている子。ニコニコ顔をお友達とふざけっこをしている子。こうしてにぎやかな雰囲気

気の中、月曜日の朝が始まります。一昨までは月曜学校と呼ぶ。す。一昨までは「学校」といって何か管理的な意味合いが強い印象を受けるので、昨年からは「ほしの子クラブ」と改称して活動を続けています。

さて、毎週の様子を紹介しま



骨食い太郎は、弟の三郎がこの世からほうむりさられたので、あわてふためきました。そして、強力な仲間を呼んできたのです。

「おいらは血鬼太郎。血をつくっている骨のずいが、おいらの大好物。骨のずいにいたずらして、体中に悪い血を流してやるんだ」
 チヨロマツはそんなおどしにも少しもひるまず、
 つけ入るスキを与えません。
 「三郎には油断してしまつたが、こんどはそうはいかない。」
 おまえたちが勝つか、オレのいのちが勝つか、とことん、こんくらべだ」

骨食い太郎と血鬼太郎は、

「骨食い太郎 と チヨロマツ」

まずはお礼拝。きれいなピアノの音を聞きながらお心を静かにしたあと、元氣一杯にお歌を歌います。みんなとても一生懸命。お歌のあとはお話です。イエス様のことや聖書のお話を、ときには紙芝居なども交えながら、先生が一生懸命話します。
 お礼拝が終わるとみんなの待ちに待った楽しい遊びの時間です。お絵書きや折紙をしたり、簡単な工作に取り組んだり、ときにはエアートランポリンで、思いっきり体を動かします。みんなのお目々もキラキラと輝いています。一生懸命なお顔はとても可愛らしいです。
 限られた場所、短い時間で子どもたちの関わりが十分とは言えませんが、それでもみんな毎週楽しみに「ほしの子クラブ」に通ってきてくれます。このクラブでお友達や、スタッフ等がふれあい、優しい心と平和を大切にできる人に、共に成長していけたらいいなあと思つています。皆さんも是非、「ほしの子クラブ」をのぞきにきて下さい。お待ちしております。

最終回

松下 かつとし



でクスリをいただいちやつて、すみません」
 チヨロマツのまわりには、いつも笑い声がたえません。

骨食い一族は笑い声が大きいです。

「あの笑い声をきいていると、おいらは元氣がでな

い」
 「おいらも、なんだか体が自由にならな

い」
 「ちよつと横にならせてもらうぜ」
 「しかたがない。ここはひとまず休戦とするか」

いま、骨食い太郎と血鬼太郎は、チヨロマツの体の中で深い、深い眠りについでいます。

チヨロマツはというと、今日も笑顔と笑い声を求めて、チヨロチヨロ動きまわっているようです。

おわり

チヨロマツにささやきます。
 「右手がなくなつたらおしまいだ。」
 はしももてないし、字も書けない」
 「みつともなくて、外も歩けない」
 するとチヨロマツは、左手で手紙を書いて、いろんな人にどんどん出歩いて、友達もふやします。

また、骨食い兄弟がつぶやきます。

「はたらけないやつは、役立たずさ」
 「かいしようなしは、家にひっこんでいたほうがいいよ」

するとチヨロマツは、
 「お金をかせぐばかりが
 かいしようじゃないさ」

といて、体の不自由な人や病気で苦しんでいる人をはげましてまわります。

チヨロマツに出会つた人たちはくちぐちにいました。
 「チヨロマツさんをはげまそうと思つていたら、いつのまにかこつちがはげまされてた」

「はなしをしてるうちに元氣が出てくるから不思議だ」
 「どうしてそんな生き方ができるの」

チヨロマツはとほけてこたえ

ます。
 「さあ、どうしてでしょうねえ。」

きつと私には、みなさんの笑い声や元氣そうな顔が、いしばんのくすりな顔

んでしよう。いつもタダ

です。

創作童話「骨食い太郎とチヨロマツ」はいかがでしたか？ 松下さんを存じない方も、その人柄を少しは伺い知ることができたのではないのでしょうか。
 次の連載モノについては現在、鋭意企画中です。皆様方の中で、よいアイデアをお持ちの方がおられますら、是非、当センターの方までご一報ください。お待ちしております！

愛隣館研修センター

※ 97・夏期献金のお願い ※

～ 今後の展開に備えて ～

当センターが、この向島の地に誕生して、早18年が経とうとしています。今日まで、皆様方に支えられ、活動を続けることができましたことを心より感謝します。これまでも、「障害」を持つ方、お年寄りや子どもたちが、安心して暮らせる“場”づくりを目指して、様々な活動に取り組んできました。そして、93年には、念願のエレベーター設置、身体「障害」者デイサービス・給食事業の開設、又、95年度には3階を増築。入浴設備の設置により、昨年度より身体「障害」者デイサービス・入浴事業をはじめるにいたっております。

しかし、その際、銀行、社会福祉事業団より併せて4千万円余を借り入れております。デイサービス事業に関しましては京都市からの委託金で運営しておりますが、前述の借入金の返済、また、今後の新たな事業・活動の展開にむけ、資金的には非常に苦しいと言わざるを得ないのが現状です。

これまでも皆様方には多額の献金をして頂いているにも関わらず、新たなお願いをさせて頂くのは誠に恐縮ですが、上記のような状況をご理解頂き、ご協力お願いいたします。

よろしくお願ひいたします！

＜ 夏期献金・要項 ＞

◆ 目 的

当センター3階の増築にかかる借入金の返済、および今後の事業展開に備え、地域福祉の向上に寄与するため。

◆ 夏期献金・目標額

3,000,000円
※口数、金額とも任意です。

◆ 送金方法 ※以下の口座をご利用ください

《郵便振替》

01020-5-39321

口座名：社会福祉法人イエス団 愛隣館研修センター

お知らせ

※ 新スタッフ紹介 ※

当研修センターのひとつの重要な活動のひとつである「障害」児ガクドームも六年目をむかえ、そろそろ学齢期を終え、その後の進路を考えなければならぬ状況の人が出てきました。一人一人の個性にあつた自立が、いかにして可能かというのを基本的なコンセプトとして取り組んでいきたいと思っております。

これまでの中心的な働きを、これまでも「ガクドーム」はもとより、「アジア国際夏期学校」等、当センターの様々な活動にかかわってくれていた辻早苗（つじさなえ）さんが今年度から担ってくださることとなりました。

辻さんは、九六年に同志社大学文学部を卒業し、昨年一年間は北海道の浦河という所にある精神障害を持つ方々が中心になって運営している「福祉シヨップ」で働いていました。

走りだしたところで、今後どのような形になっていくかは今のところ未知数ですが、これまでのつながりをベースに、様々な人々と連携しつつ良いものに育ってほしいなあと思っております。

どうぞ皆さん、よろしくお願ひいたします。

カレンダー

◇アジア国際夏期学校・オリエンテーション及び開校式
◇七月十二日(土)十三日(日)
今年度「台湾セミナー」事前学習会及び研修生選考会他、詳細に及び研修事務局の方までお問い合わせください。

◇アジア国際夏期学校・台湾セミナー◇ テーマ：「台湾の現状と先住民族」七月三十一日(土)八月四日(月) ※申し込みは五月の末日にて締め切っております。悪しからずご容赦ください。

◇土曜学校キャンプ◇ 八月七日(水)八日(金)の一泊二日。対象：土曜学校にきている小学一、二年生。場所：京都市百井キャンパス。

◇日曜学校キャンプ◇ 八月十三日(水)十五日(金)の二泊三日。対象：日曜学校にきている小学三年以上、中学生、高校生。場所：京都市百井キャンパス。

◇夏期休館日◇ 八月十三日(水)十六日(土)まで。十八日より通常どおり開館いたします。

一〇二〇二〇二〇一